

令和4年度 1年学年通信 12月号



石川県立金沢錦丘高等学校
1年学年団

～新年に向けてこの1年を振り返ろう～

今年も残りわずかとなり、冬休みが近づいてきましたね。緊張と不安とワクワクでいっぱいだった4月からあっという間に8ヶ月が過ぎ、2022年も最後のひと月となりました。高校入試、中学卒業、高校入学、遠足、部活、友達、定期試験、外部模試、球技大会、紫錦祭 etc…今年もたくさんの出来事がありましたね。改めて達成感を味わうとともに、やり残したことはないか、振り返ってみましょう。



行事予定(12月・1月) ※太枠は50分授業

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6 1～3限授業 文化教室(午後)	7	8	9	10 GTEC 4技能 1年全員受験	11
12	13 課題研究ポスター 発表準備(5～7限)	14 1年救急法講習会 (3～6限)	15	16	17	18
19	20	21	22	23 45分授業×3 表彰伝達式 終業式(正装) 保護者懇談会①(午後)	24	25
26 保護者懇談会②	27 保護者懇談会③	28	29 閉庁日 (生徒登校禁止)	30 閉庁日 (生徒登校禁止)	31 閉庁日 生徒登校禁止	1/1 閉庁日 生徒登校禁止
1/2 閉庁日 (生徒登校禁止)	3 閉庁日 (生徒登校禁止)	4	5	6	7	8
9 成人の日	10 始業式 大掃除	11	12	13	14 ベネッセ総合 学カテスト	15

後期新人戦 お疲れさまでした！

11/10（木）～11/13（日）に後期新人戦が行われました。3年生が引退して以来、初の大きな大会でしたね。フェンシング部、少林寺拳法部、弓道部、かるた部、新体操の優勝以外にも放送部、新聞部が優秀賞を獲得するなど、素晴らしい成果を残しました。残念ながら結果の出なかった部においても、大事なことは「ベストを尽くしたか？」だと思います。4ヶ月後には皆さんも後輩を持ち、部の中心的存在になります。今回の大会結果を糧に、今後も文武両道で充実した高校生活にしていきましょう。

いしかわ教育ウィーク（11/1～11/7）へのご参加ありがとうございました



今年度からは1人1台端末が全学年で整備され、授業形態の変化も感じられたのではないのでしょうか。

11月3日（木）午後は比田井 和孝氏を講師にお招きし、「幸せな人生を歩むためにとても大切なこと」と題して教育講演会を行いました。1年生は教室でのリモート参加でしたが、熱いメッセージが画面越しにも伝わりました。

（生徒の感想↓抜粋）

- ・今回の講演で一番胸に響いた言葉は、「これまでの人生で一番多く聞いてきたのは自分の言葉だ」という言葉です。（略）もう少し自分自身を信用してもいいのかと思える気持ちになりました。
- ・私自身嫌なことややりたくないことは、弱点や欠点として逃げるが多くありました。先生の話聞いて、その自分を受け入れることが大切なんだと気づくことができました。

・講演を聞いて、考え方によって生き方が変わるということに改めて思いました。（略）自分をかわいそうだと思ひんだり、相手の言葉を素直に受け取らなかつたりすることをやめたいです。辛い時こそ、それを楽しくする方法を考えて実行したいです。

11月4日（金）7限の「総合的な探究の時間」では、2学期に班別で探究してきた「防災・減災プロジェクト」、または「地域の魅力プロジェクト」の中間発表が行われました。1月の最終発表に向けて、同じテーマの仲間で発表しあうことで具体的なアドバイスを与え合うことができ、有意義な時間となりました。



定期テストや模擬試験の結果を振り返り、自分の糧にしよう

冬休みは年末・年始にあたり慌ただしい時期ですが、これまでの復習を行うチャンスでもあります。下に、今までのテストのやり直しの方法をまとめています。参考にしながら、冬休み中に取り組み、基礎固めをしましょう。

冬休み中に取り組んでみよう ～定期テストや模擬試験のやり直し～

定期テストや模擬試験で間違えた問題は、自分の「伸びしろ」です。冬休み中にじっくりと時間をかけて取り組んでみましょう。必ず、力になります。

- ① 今までの定期テストや模擬試験で間違えた問題を解き直す。
- ② 自己採点をする。この時、「答えがあっていたかどうか」よりも「考え方があっていたかどうか」に注意して採点する。
- ③ 「考え方がわかっていなかった問題」については、考え方を理解することから始め、類題に取り組む。
- ④ 「考え方がわかっていたが間違えた問題」については、「なぜ間違ったのか」原因を探り、「自分のミスの癖」を認識して、もう一度問題を解き直す。